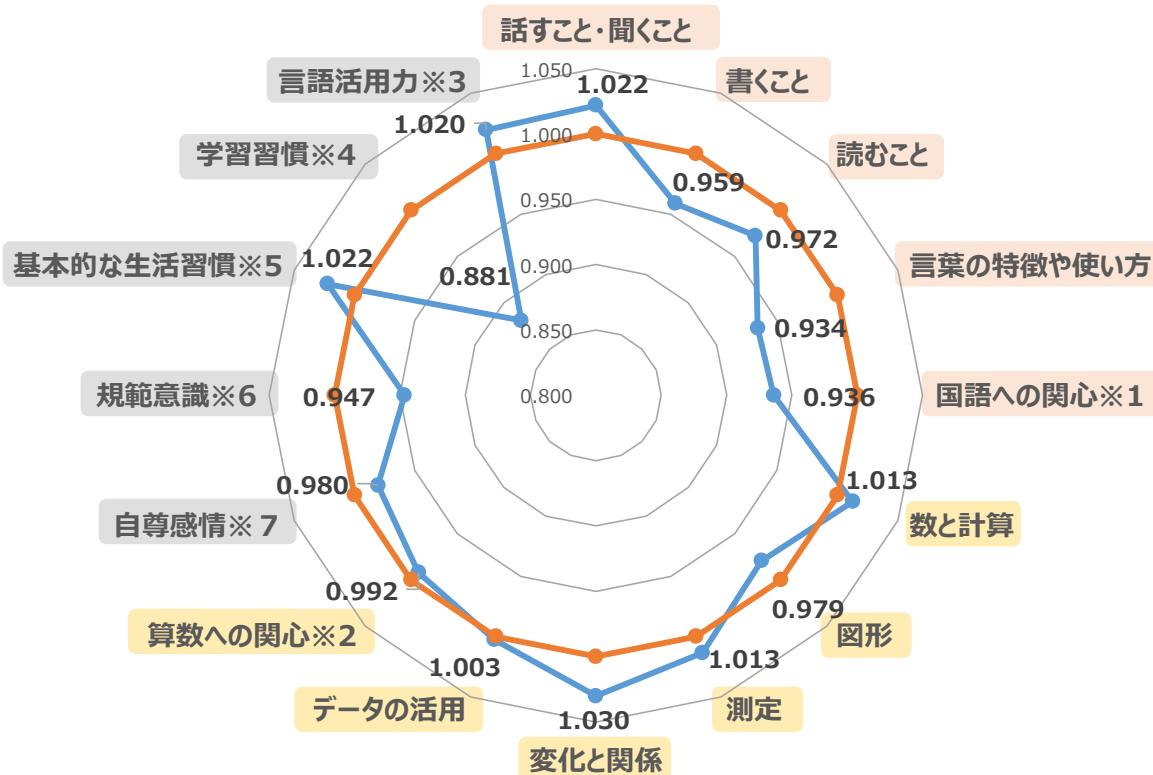


教科に関する調査 及び 児童生徒質問紙

小学校

—●— 交野市 —●— 全国（全国平均を1とする）



【児童生徒質問紙より】

※1「国語の勉強は好きだ」「国語の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均

※2「算数の勉強は好きだ」「算数の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均

※3「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均

※4「月～金曜日に勉強している1日当たりの時間」に「30分以上」と答えた児童の割合

※5「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」「毎日同じくらいの時間に起きている」に「している」「どちらかといえばしている」と答えた児童の割合の平均

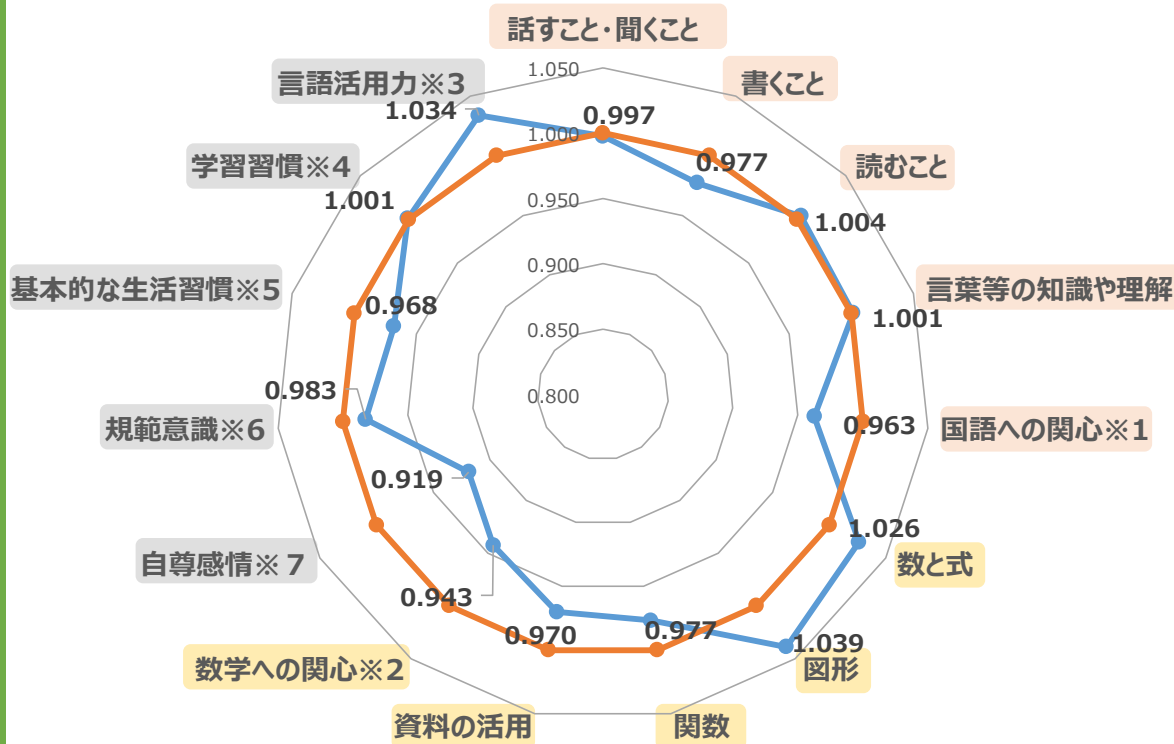
※6「人が困っている時は進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合の平均

※7「自分にはよいところがある」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合

教科に関する調査 及び 児童生徒質問紙

中学校

— 交野市 — 全国（全国平均を1とする）



【児童生徒質問紙より】

※1「国語の勉強は好きだ」「国語の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均

※2「数学の勉強は好きだ」「数学の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均

※3「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均

※4「月～金曜日に勉強している1日当たりの時間」に「1時間以上」と答えた生徒の割合

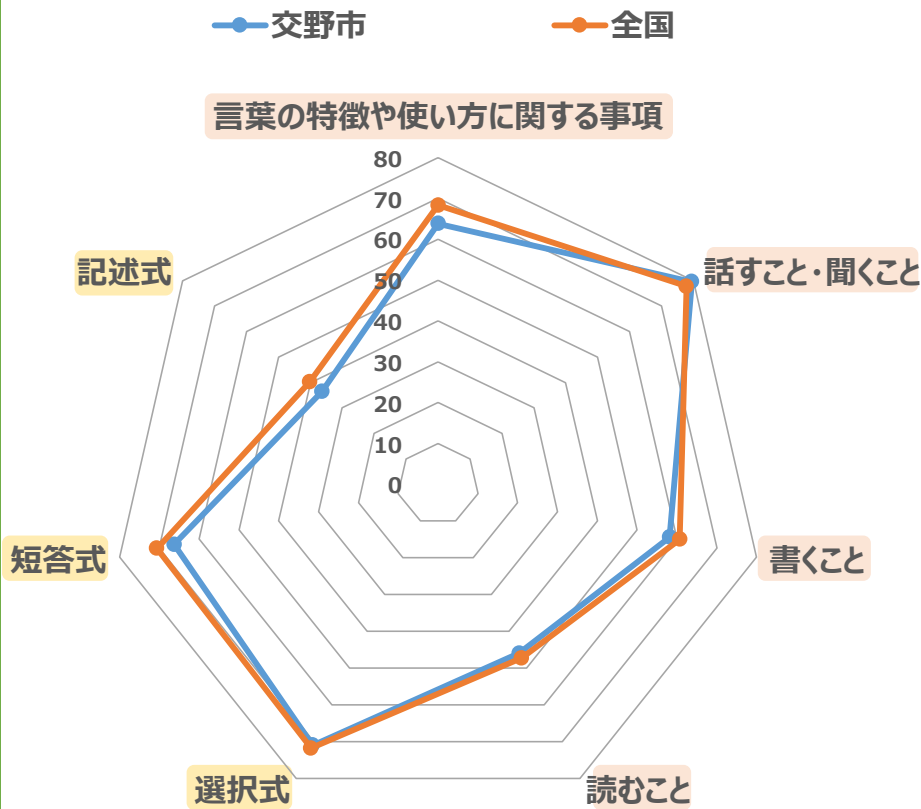
※5「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」「毎日同じくらいの時間に起きている」に「している」「どちらかといえばしている」と答えた生徒の割合の平均

※6「人が困っている時は進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合の平均

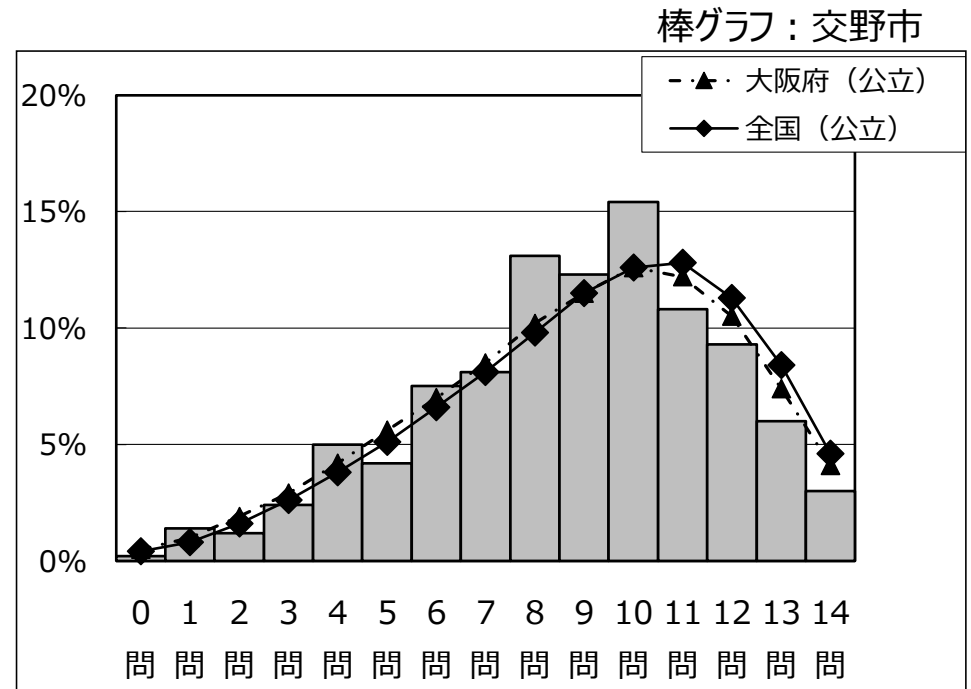
※7「自分にはよいところがある」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合

小学校・国語

学習指導要領の内容及び問題形式別平均正答率



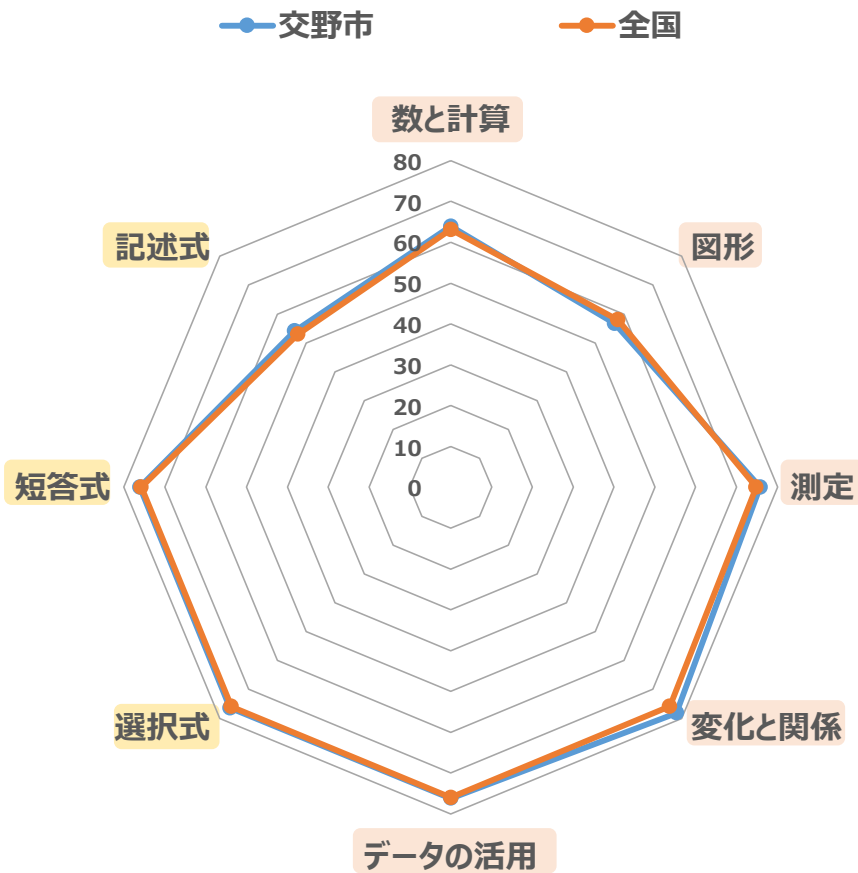
正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



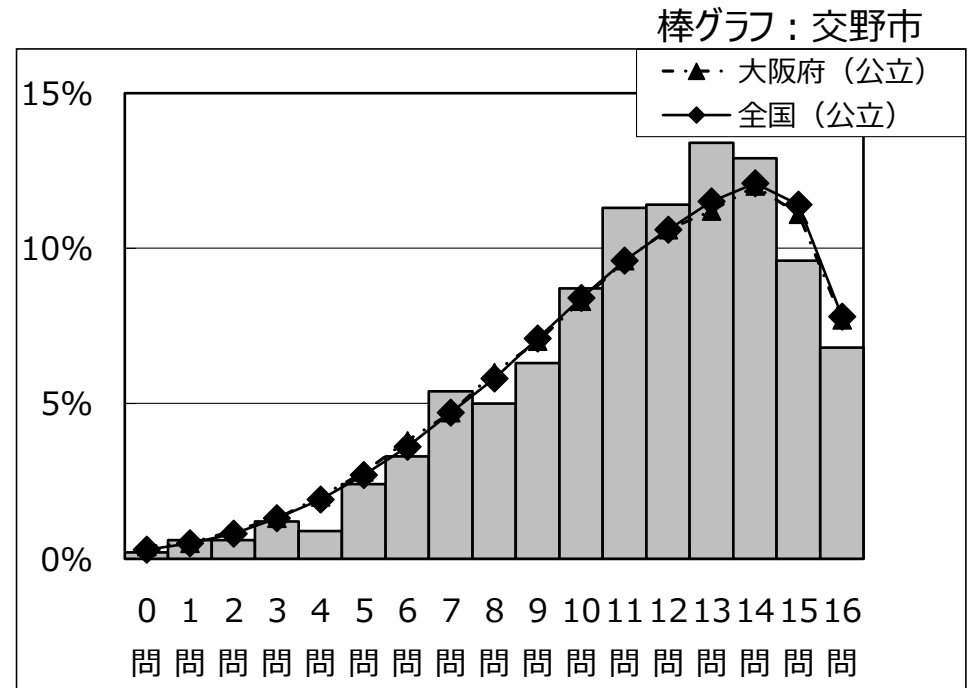
	平均正答数	平均正答率	中央値
交野市	8.8/14	63%	9.0
全国	9.1/14	64.7%	9.0

小学校・算数

学習指導要領の領域及び問題形式別平均正答率



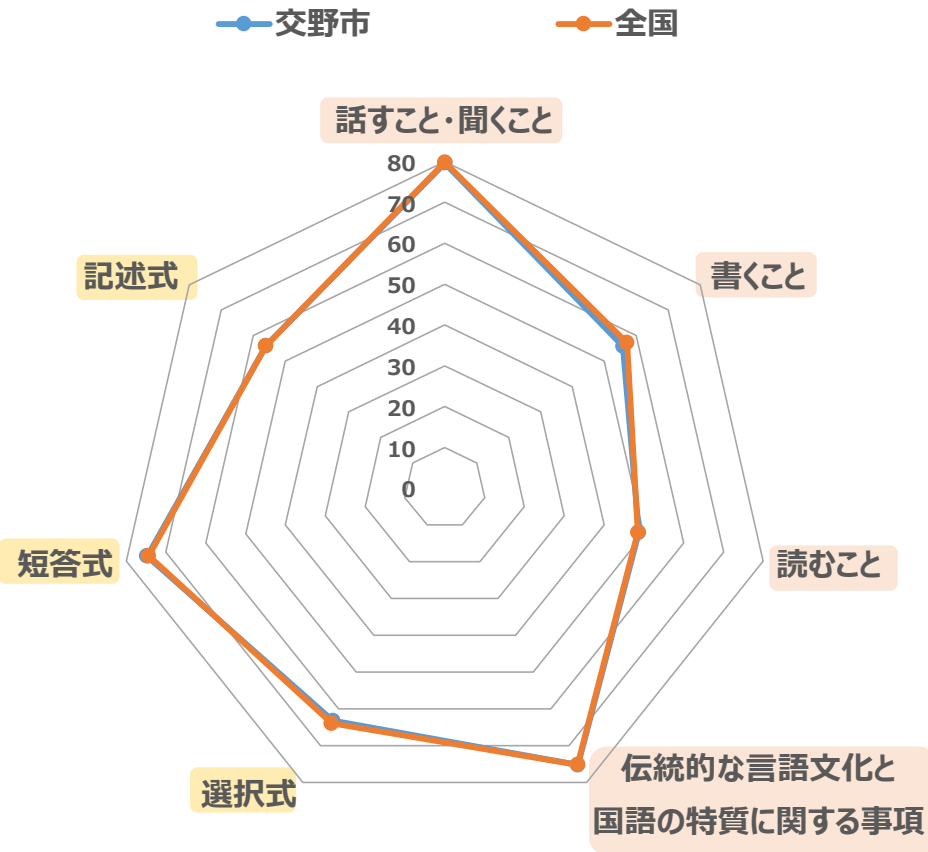
正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



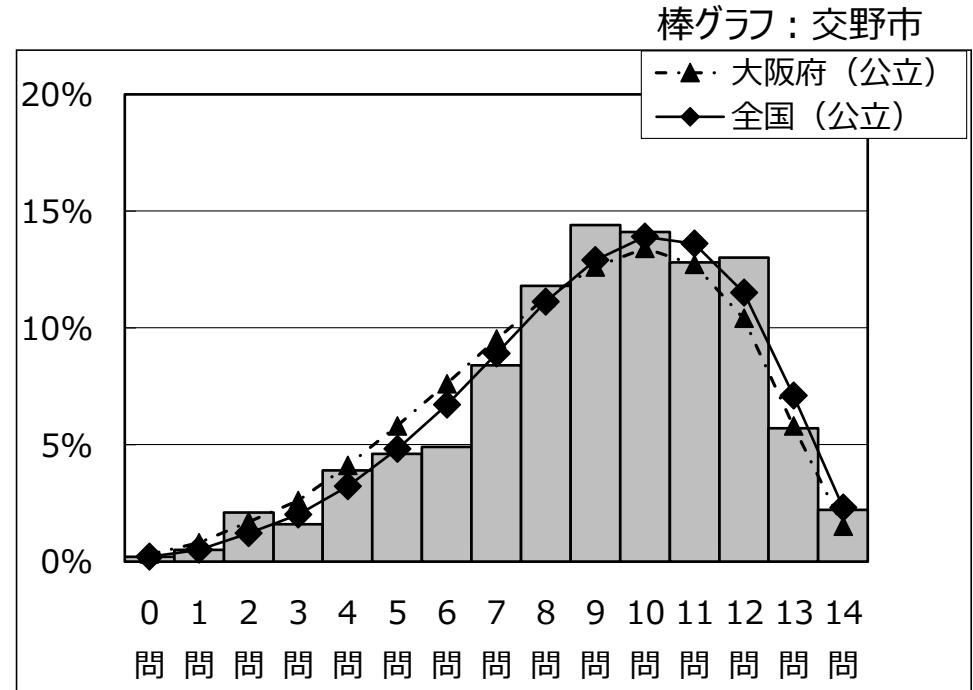
	平均正答数	平均正答率	中央値
交野市	11.3/16	71%	12.0
全国	11.2/16	70.2%	12.0

中学校・国語

学習指導要領の領域等及び問題形式別平均正答率



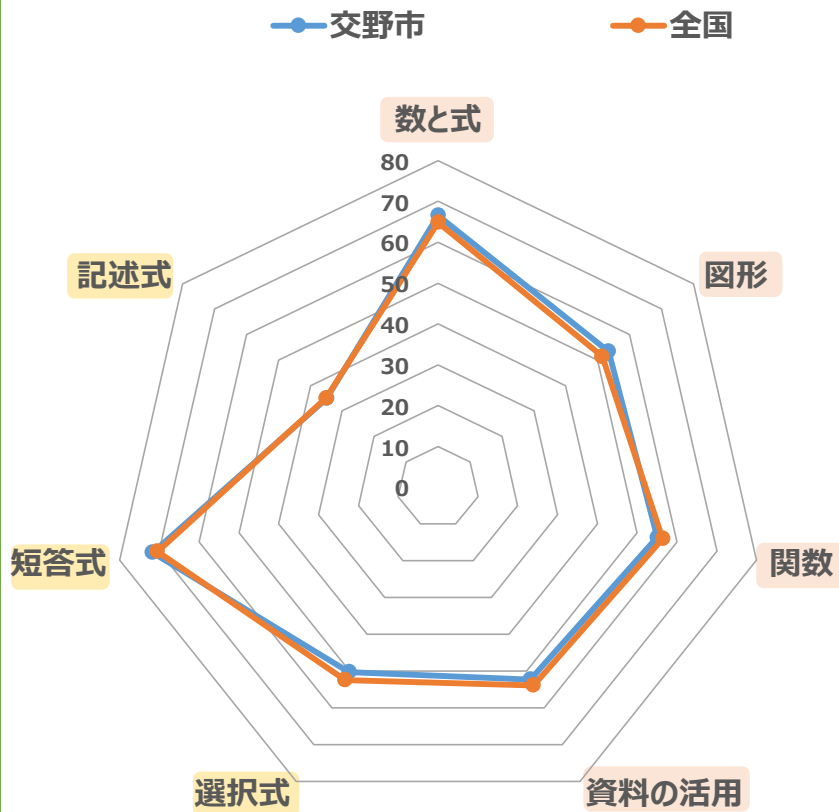
正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



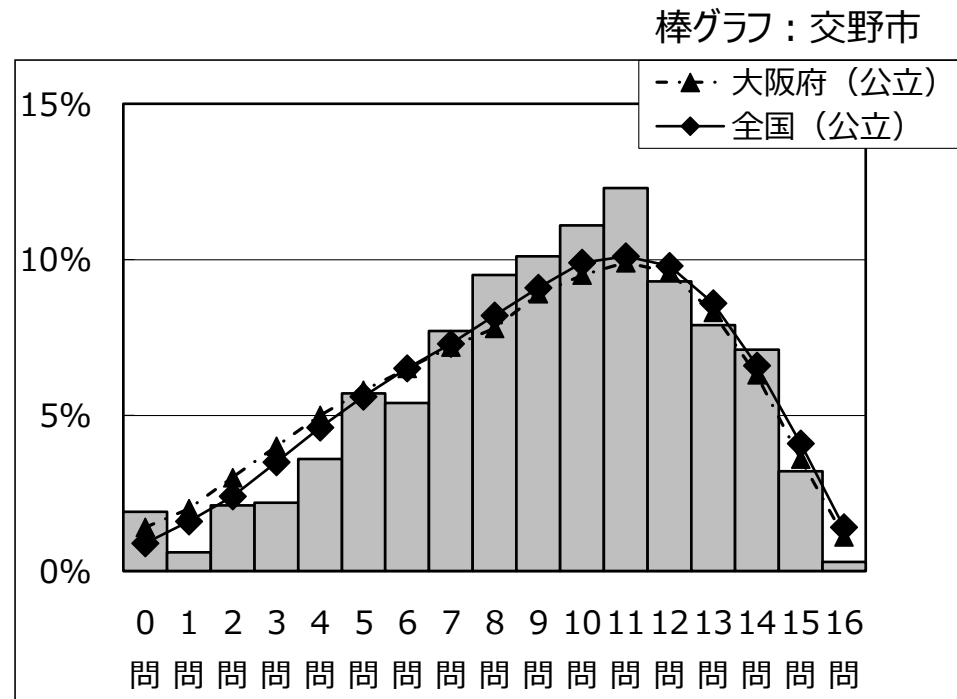
	平均正答数	平均正答率	中央値
交野市	9.0/14	64%	9.0
全国	9.0/14	64.6%	9.0

中学校・数学

学習指導要領の領域及び問題形式別平均正答率



正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)



	平均正答数	平均正答率	中央値
交野市	9.2/16	58%	10.0
全国	9.1/16	57.2%	10.0

児童生徒質問紙

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）

基本的な生活習慣

○小学生は望ましい生活習慣が定着していると考えられるが、中学生はやや不規則であると考えられる。

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	市	全国	差	市	全国	差
朝食を毎日食べていますか	95.3	94.9	+0.4	92.4	92.8	-0.4
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.9	81.2	+3.7	75.2	79.8	-4.6
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.2	90.4	+1.8	89.3	92.7	-3.4

規範意識

○多くの児童・生徒が高い意識を持っているが、全体的に全国平均よりもやや低い。

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	市	全国	差	市	全国	差
人が困っているときは、進んで助けていますか	86.9	88.7	-1.8	86.7	88.5	-1.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4	96.8	-0.4	94.5	95.9	-1.4

児童生徒質問紙

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（%）

自尊感情

○自己肯定感が全国平均と比べ低い様子が見られる。

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	市	全国	差	市	全国	差
自分には、よいところがあると思いますか	75.4	76.9	-1.5	70.0	76.2	-6.2

学習の様子

○小学生は全ての項目で全国平均と比べ低くなり、今後の定着に向けて課題が見られる。

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	市	全国	差	市	全国	差
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	63.9	74.0	-10.1	65.9	63.5	+2.4
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	(30分以上)			(1時間以上)		
	76.8	87.0	-10.2	78.9	75.9	+3.0
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	78.0	78.3	-0.3	74.6	74.6	0.0

児童生徒質問紙

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（%）

授業の様子

○算数・数学については授業内容を理解している児童・生徒が全国平均より多い一方、国語はどちらもわずかに低い。

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	市	全国	差	市	全国	差
国語の授業の内容はよく分かりますか	83.3	84.2	-0.9	78.5	80.1	-1.6
算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	86.9	84.6	+2.3	77.4	74.6	+2.8

ICTの活用状況

○ICTの活用状況は小・中学校ともに、全国平均を大幅に上回っており、各校で取組みが進んでいると考えられる。

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	市	全国	差	市	全国	差
5年生（中学1・2年生）までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	(週1回以上) 64.5	40.1	+24.4	(週1回以上) 47.3	33.4	+13.9
あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか	(週1回以上) 62.3	39.0	+23.3	(週1回以上) 56.7	34.8	+21.9

調査結果

■教科に関する調査より

◇小学校

- ・国語では、「話すこと・聞くこと」はよくできていた。一方、文の中における主語と述語との関係、修飾と被修飾の関係を捉えることに課題が見られた。
- ・算数では、「測定」「変化と関係」「データの活用」はよくできていた。一方、図形の計量について必要な情報を選び出すことに課題が見られた。

◇中学校

- ・国語では、「話すこと・聞くこと」はよくできていた。一方、文脈の中における語句の意味を理解することに課題が見られた。
- ・数学では、「数と式」「図形」はよくできていた。一方、表やグラフなどのデータに関する問題に課題が見られた。

■生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査より

- ・ICT機器の活用は全国平均と比較し、取組みが進んでいた。
- ・算数・数学の「授業の内容はよく分かる」の項目では、肯定的回答が全国値を上回っており、各校で授業改善が進んでいる。しかし、「国語の授業の内容はよく分かる」の肯定的回答が全国値を下回る結果となっており、「分かることが実感できる授業」を行うことが必要である。
- ・「自分にはよいところがある」との項目で肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小・中学校ともに全国値を下回り、課題が見られた。
- ・小学校から授業時間以外の学習習慣や読書習慣を定着していく必要がある。

改善のための方策

◆交野市教育委員会として、『交野市学校教育ビジョン』に掲げている4つの施策の柱「情（こころ）の教育を育む学校」「確かな学びが実感できる学校」「組織力の向上と開かれた学校」「学校・家庭・地域の連携と安全な学校」をめざし、以下の取組みを推進します。

① 授業改善の推進

- 教員の指導力向上のため、市の事業である「小・中学校学力充実支援事業」における先進校視察や「校内研究推進プラン」による各学園のモデル校の授業づくり・組織づくりの成果を全小・中学校で共有し、組織的な学習指導の改善・充実につなげることで、「すべての子どもが分かる・できる授業」をめざします。
- 児童の学習内容の定着を図るため、「小学校定期テスト」を実施し、実態把握と課題分析を行い、学習指導の改善と質的向上を図ります。
- 児童・生徒が学びのつながりを意識して学習できるようにするため、小・中学校の教員が協働しながら実施している公開授業への取組みを支援します。

② 言語活用力の向上

- 国語科を中心に全ての教科において、明らかになった課題を身に着けるために適した言語活動を設定し、系統性を意識した螺旋的・反復的な学習により、定着を図ります。
- タブレット端末を有効に活用し、他者と交流しながら児童・生徒自身が主体的に学び合う授業を推進します。
- 子どもが本に親しむ機会を増やし言語活用力を向上させるため、学びあいサポーターや図書アドバイザーを派遣し、授業で学校図書館を積極的に活用し調べ学習や読書習慣の定着を図ります。

③ 学校・家庭・地域の連携

- タブレット端末を活用した家庭等での自学自習や児童・生徒一人ひとりにあった個別に最適化された学びの在り方について研究します。
- 各学園で共有している「家庭学習の手引き」を活用し、教育課程の実施にあたり地域の人的・物的資源を活用するなど、地域の方々や施設の協力を得た学習活動の推進を図り、子どもが自ら進んで学ぶ態度を醸成します。